

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年3月3日（木）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事
副会長	生田 靖子	可児市こども発達支援センター「くれよん」所長
委員	三好 正司	元公立学校教頭
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長
学校側	日置 俊二	下米田地区自治会会長会副会長兼牧野区長
	間野 笑子	当校PTA会長
	平野 俊之	校長
	山下 サツキ	事務部長
	河合 浩司	教頭
	三島 祥江	教頭
	佐藤 洋子	小学部主事
	古田 康子	中学部主事
	西田 智子	高等部主事
	飯田 直樹	教務主任

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和3年度の教育方針及びその取組について

- 意見1：コロナ禍で大変な状況の中、ICT活用等の工夫により教育方針を実現している。
- 意見2：コロナ禍に配慮したICTの活用や活動の工夫で児童生徒が楽しく学校生活を送ることができている。
- 意見3：高等部の現場実習がコロナの影響で制限されているが、学校生活の中で成長につなげる工夫がなされている。
- 意見4：学年、学部のステージが上がるごとに成果をあげて次の課題へとつなげていくという取組に熱意が感じられる。

(2) 学校運営協議会のもち方について

- 意見1：広く情報や協力を得られるよう、福祉施設、企業、行政、社協等の関係機関の方を学校運営協議会の委員として招集できるとよい。
- 意見2：PTA代表について、障がい種や所属学部によって意見も異なるところがあるので、PTAから複数人を学校運営協議会の委員として加えてもよいのではないかと。
- 意見3：コロナ禍が続くことを想定してオンライン会議を行うこともよい。
- 意見4：年間3回と回数が少ない中、説明が長いと協議する時間が十分にとれないので、的を絞って提案、協議できるとよい。

(3) 地域資源、人材資源についての情報提供

意見1：地域とつながるためには、学校がオープンであることが大切である。学校祭などの際に外部の方に来校していただき、学校や児童生徒のことについて知っていただく機会をもつことが必要と考える。

意見2：新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、地域と広く深く活動ができることを願う。

意見3：農地の借用について要望がある。地区の農地を管理する方に相談するとよい。

(4) その他

意見1：学校運営協議会において学校から説明や資料提供があり、学校の取組状況がよく分かるが、コロナ禍で来校したり交流したりする機会が少ない今、保護者や地域には学校の取組状況が伝わりづらい。今以上に情報発信するというと負担を感じるかもしれないが、児童生徒や教職員ががんばっている姿を保護者や地域の方に知ってもらうことで協力も得られると思うので、引き続き取り組んでほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回と第3回の学校運営協議会では書面開催とした。第2回は本校にて開催できたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から時間を短縮して行った。各委員から学校運営に関して具体的な意見や評価を得ることができた。
- ・学校評議委員会から学校運営協議会への移行や会議の持ち方についての検討不足などから、課題解決のために熟議を重ねるところまでには至らなかった。
- ・今後の課題は、委員の構成、会議の持ち方、協力体制の構築等を含む学校運営協議会の仕組みと、活動内容について職員、保護者、地域へ情報提供することである。